

国内クレジット認証委員会 御中

## 審査結果概要書

平成 21 年 10 月 2 日

審査機関名 KPMG あずさサステナビリティ株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	株式会社 弘栄社
排出削減協同実施事業者名	株式会社 FT カーボン 丸紅株式会社 その他関連事業社名：株式会社日本サーモエナー
事業実施場所	株式会社 弘栄社 本社工場（大阪府松原市天美北 4 丁目 10-5）
事業の概要	A 重油ボイラを都市ガスボイラへ更新することにより、ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	130 t CO2/年 (事業実施期間合計 585 t CO2/年)
国内クレジット 認証期間	開始日 2008 年 10 月 6 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

### 3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業実施場所を訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：大阪府松原市天美北 4 丁目 10-5
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者（株式会社弘栄社）関係者への質問等により確認した。

	<p>2) 本事業が実施できない場合には、既存の設備が継続的に使用されることを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時の既存設備設置年の確認等により確認している。</p> <p>3) 本事業は投資回収年数が3年を超える(5.6年)であることについては、質問、再計算、関連資料との突合などにより、正確性を確認している。</p> <p>4) 削減事業実施者(株式会社弘栄社)は、既存のA重油ボイラの設備更新を検討したいと考えていたが、初期投資額の大きさなどにより、なかなか更新に踏み切れなかった。しかし、設備業者から説明を受けた都市ガス燃料とするボイラを導入するメリットに加えて、国内クレジット制度を利用することによってクレジット売却益が見込めることで、ボイラの更新を行ったことを質問により確認している。</p>
<p>自主行動計画に参加していない者により行われること</p>	<p>自主行動計画に参加していないことについては、排出削減事業者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることの確認を実施した。</p>
<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本事業は、承認排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、それぞれの方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。既存設備の使用年数が法定耐用年数である15年の2倍(30年)を超えていなかったことを、質問などにより確認した。</p> <p>適用条件1については、既存ボイラのボイラ効率のカタログ値、実測結果の確認等によって、高効率ガスボイラを導入することを確認している。</p> <p>適用条件2については、既存のボイラが未だ使用可能であったことを関係者への質問などにより確認している。</p> <p>適用条件3については、ボイラで製造された蒸気が自家消費されていることを、現場視察、及び関係者への質問等により確認している。</p> <p>2)その他：バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについては、それぞれ質問と関連資料により確認している。</p>

4. 特記事項

導入設備の補助金は受けていない。

以上